

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工業研究費

事業名 新生活技術研究所トイレ洋式化工事(UD化分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

生活技術研究所 管理調整係 電話番号：0577-33-5252

E-mail：c23106@pref.gifu.jp

1 事業費 **4,829千円 (前年度予算額： 0千円)**

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 4,829 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,829 |
| 決定額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

生活技術研究所本館は、鉄筋コンクリート造3階建てで、昭和47年の建設時から49年が経過し、設備の老朽化が進んでいる。

男性用洋式トイレは無く、女性用も3階には無い。また、男子トイレと女子トイレの間仕切りが、天井までつながっていないため、音がよく伝わり、依頼試験や技術の相談、試験機器の利用等で訪れる企業の方々や、職員が利用し難い状況となっている。

(2) 事業内容

- ・トイレ洋式化工事 0→4,829千円
各階男女毎に洋式トイレ1ずつとなるようにする。
- | | | |
|----|-----|------|
| | 現状 | 工事後 |
| | 和-洋 | 和-洋 |
| 男子 | 5-0 | →2-3 |
| 女子 | 3-2 | →2-3 |

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|-------|----------|
| 工事請負費 | 4,829 | トイレ洋式化工事 |
| 合計 | 4,829 | |

決定額の考え方

UD化分については、管財課で一括して計上します。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 トイレの洋式化により、依頼試験や技術の相談、試験機器の利用等で訪れる企業の方々の利便性向上を図るとともに、職員の職場環境改善を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 終期目標 | 達成率 |
|-----|-------|------|------|------|------|-----|
| | (R) | 実績 | 目標 | 目標 | (R) | |
| | | | | | | % |

○指標を設定することができない場合の理由

建物修繕にかかる費用であり、指標の設定に適しない。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|--|
| 令和2年度 | ・取組内容と成果を記載してください。 |
| 令和3年度 | <p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p> |
| 令和4年度 | <p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p> |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|-----------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない | |
| (評価) 3 | 建物のユニバーサルデザイン化のため、トイレの洋式化が必要である。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 2 | 来所者の利便性の向上につながる。また、職員の職場環境が改善される。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | 【〇〇課】 |
| 組み合わせて実施する理由や期待する効果 など | |